

平成 23 (2011) 年さけます来遊状況 (第 1 報 : 7/31 現在)

独立行政法人水産総合研究センター  
北海道区水産研究所 さけます資源部

7月に入り北海道東部の沿岸ではカラフトマスを対象とした小型定置網漁業が解禁となり、8月下旬からは秋サケ定置網漁業が開始されます。

第1回目として、ここに7月31日現在の北海道におけるカラフトマス来遊状況をお知らせします。

なお、来遊状況の取りまとめにあたり、本年も道県及び増殖団体の関係者の皆様方には迅速な情報提供などのご協力をお願いいたします。

1 カラフトマス来遊状況

- ・来遊数は 22 万尾 (対前年同期比 : 140.7%、平年同期比 : 63.3%)
- ・オホーツク海区を含む日本海側で 18.5 万尾 (対前年同期比 : 187.4%)、根室海区を含む太平洋側で 3.5 万尾 (対前年同期比 : 60.3%)
- ・平成 16 (2004) 年以降の来遊数から判断した場合、今年は豊漁年に当たる

(北海道)

7月31日現在、北海道のカラフトマス来遊数は 22 万尾 [対前年同期比 : 140.7%、平年 [平成元 (1989) 年~平成 22 (2010) 年の平均] 同期比 : 63.3%] となっています。

豊漁年と不漁年が入れ替わった平成 15 (2003) 年~16 (2004) 年以降 (豊漁年が奇数年、不漁年が偶数年にあたる) の同じ時期 (7/31 現在) と比べてみると、奇数年の平成 21 年 (2009) 年は 88 万尾、19 (2007) 年は 168 万尾、17 (2005) 年は 59 万尾、15 (2003) 年は 35 万尾と、最近の奇数年の中では今年が最も低調な出だしとなっています。(表 1 及び図 1~3)。

来遊年	単位: 万尾	
	7/31現在	最終
2011(H23)	22	—
2010(H22)	16	731
2009(H21)	88	1,111
2008(H20)	31	704
2007(H19)	168	1,491
2006(H18)	20	559
2005(H17)	59	918
2004(H16)	20	587
2003(H15)	35	1,184
平年	35	953

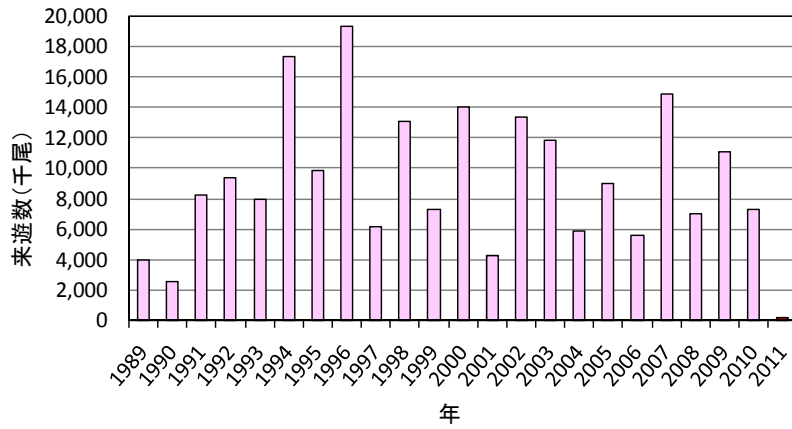


図 1. カラフトマス来遊数. 平成 23 (2011 年) は 7 月 31 日現在の数値.

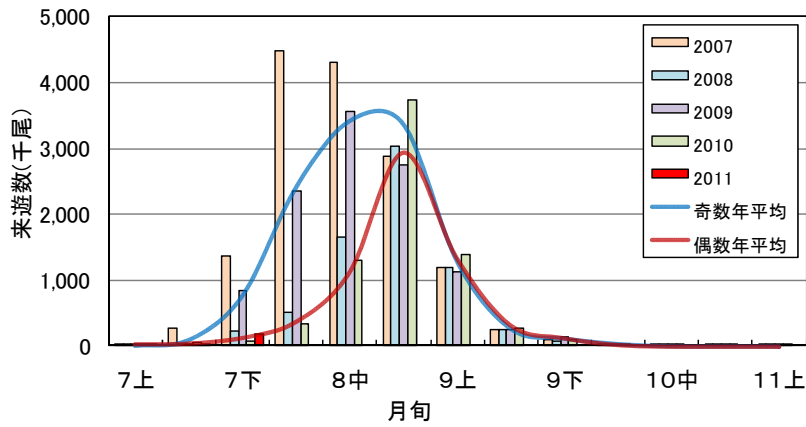


図 2. カラフトマス旬別来遊数. 奇数年平均は 2003, 2005, 2007, 2009 の平均値、偶数年平均は 2004, 2006, 2008, 2010 年の平均値を示す.

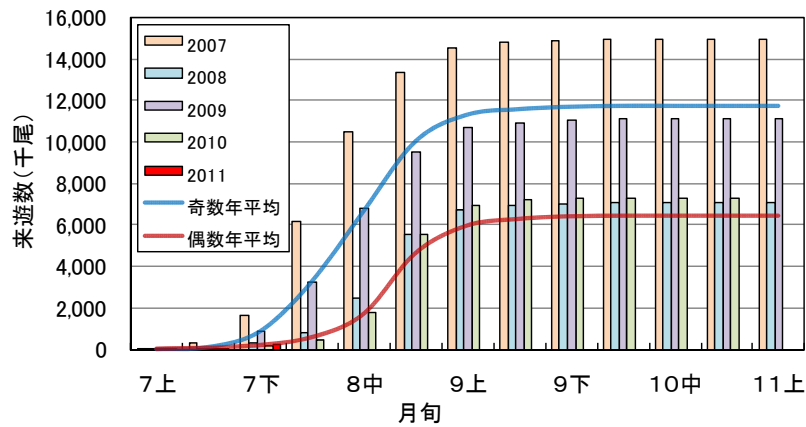


図 3. カラフトマス旬別累積来遊数. 奇数年平均、偶数年平均は図 2 に同じ.

一方、地域別にみると、日本海側（オホーツク海区及び日本海区、以下同）では18.5万尾（対前年同期比：187.4%）、太平洋側（根室～えりも以西海区、以下同）では3.5万尾（対前年同期比：60.3%）と太平洋側で前年同期と比べて大幅な減少を示しており、地域差がみられる来遊状況となっています。

図4. はカラフトマスのその年の総沿岸漁獲数および総河川捕獲数の半数が来遊した時期（月旬）をプロットしたものです。これによるとカラフトマスの来遊時期は奇数年には早く、偶数年には遅くなる傾向があり、この傾向は沿岸漁獲数で顕著です。

このことから、奇数年である今年（2010年）は早い来遊が予想されますが、今のところ低調なスタートとなっています。関係者の皆さんには8月中旬～下旬の盛漁期に向けて今後の漁獲動向を注目しつつ、これまでの旬別来遊数等の実績を参考としながら、計画的な種卵確保に向け努力されることを期待します。

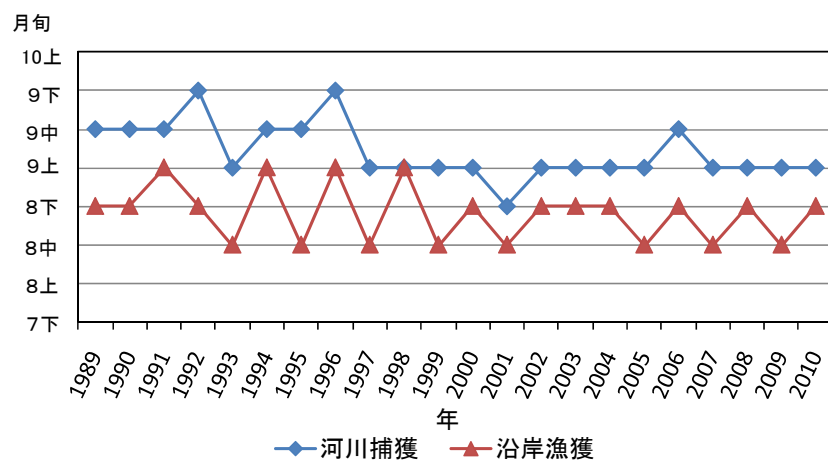


図4. カラフトマスの総沿岸漁獲数および総河川捕獲数における半数来遊月旬.

## 2 北日本の海況

気象庁における7月29日発表の「海洋の健康診断表」(発表:函館海洋气象台 [http://www.data.kishou.go.jp/kaiyou/shindan/e\\_1/hakodate\\_sst/hakodate\\_sst.html](http://www.data.kishou.go.jp/kaiyou/shindan/e_1/hakodate_sst/hakodate_sst.html))によると、北海道周辺では全般に海面水温が平年より高く、中でもカラフトマスの主産地であるオホーツク及び根室海峡は7月中旬～下旬にかけて平年より1~2°C以上高い状況となっています。奇数年2005、2007、2009年の同時期の水温状況と比較しても本年は7月下旬の水温が高い傾向です(図5)。前述したように、カラフトマスの来遊時期は奇数年で早くなる傾向があり、沿岸漁獲数では、全体の半数が来遊する時期は8月中旬の傾向となっています。今後の水温変動について注視する必要があります。

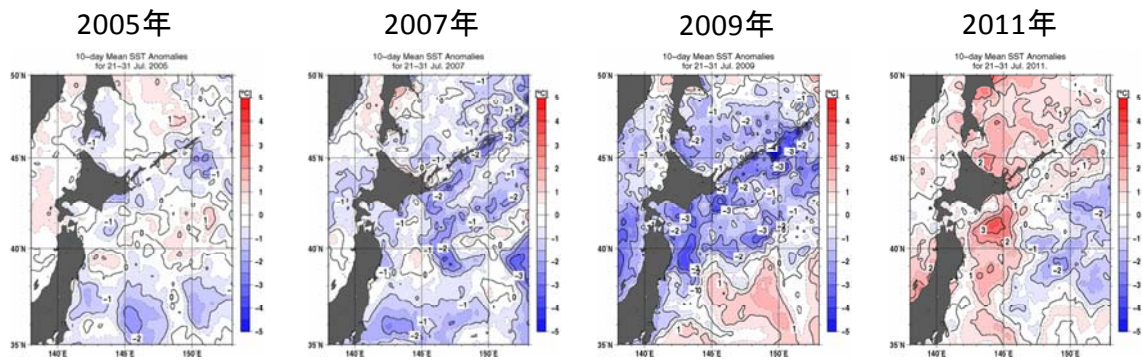


図5. 2005, 2007, 2009, 2011年(奇数年)の北海道周辺および日本東方海域における7月下旬の海面水温偏差図(30年間の平均値からの差). 出典:気象庁HP